

春 頌



三池の新年団結集会

三池では、新年を迎えると同時に、各地域分会が主婦会組織と共同で新年団結集会をもよおし、新しい年のたたかいを誓い合うのが通例です。写真は三川新港地域分会の団結集会です。

(写真撮影—中島哲朗)



発行所

三池炭鉱労働組合

大牟田市不知火町2

電話 ③3033 番
③3034 番

編集兼
発行人 山下 開

半年間1,200円 送料共

新春特集

この号は、不十分ですが新春特別号としました。とくに職場のなかまに集まっていたいで開きました座談会記事は、かならずみんなの心にふれることでしょう。

組合員・それに家族の皆さん。全国CO患者守る会会員の皆さん。全国の労働者の皆さん。

明けましておめでとうございます。
今年もともにがんばって、未来への展望を切り開くため前進しましょう！

三池炭鉱労働組合

歩きはじめ

三川指導部

すぎもと かずお

この冬のできごととして
巨大だと思えた
虚像と実像は落ちながらも
手のかえ品をかえくさい臭いをまきちらす
わかりきったことだが
北風がきびしいからといって
避けてばかりはいられない
自分の頭で考え
じろを配り
街頭で訴え
歩きまわらねばならない

集ったなかまの顔には
怒り 悲しみ 愚痴 呪い 告発があり
哄笑にはほど遠いが
みんなよく笑うのである
風がひようと鳴る
雪の北海道・幌内から
水漬けのまんまの十三のいのちは
二度目の正月をかぞえ
吹雪の音を伝えてくる
この三池でも
風のない日は霜を踏み
氷をかける坑内へと歩く
労働者が労働者でなくなるような
見事な様替りはないとしても
春へ向って歩く

語り合うなかま
笑いとはすなかま
寒風がなだれこんでいても
背すじをのぼし
腹わたに力を入れ
思いきって戸を開け放とう
でっかい夢をたぐり引き寄せ
たぐさんのひとびとと共に
さく さく
寒い道を
歩きたすのだ